

令和 2 年 度

石狩市教育委員会会議（9月定例会）議案

石 狩 市 教 育 委 員 会

日 程

日 時 令和2年9月29日(火) 午後1時30分

場 所 市役所本庁舎 市議会第2委員会室

日程第1 署名委員の指名

日程第2 承認第1号 車両の損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件について

日程第3 教育長報告

日程第4 報告事項

- ① 令和5年以降の成人式の対象年齢及び名称について
- ② 令和2年度石狩市民図書館の取組と現況について

日程第5 その他

日程第6 次回定例会の開催について

令和2年10月 日() 時 分開催

承認第1号

車両の損壊事故に係る和解及び損害賠償額の決定の件について

令和2年9月29日提出

教育長 佐々木 隆 哉

このことについて、石狩市教育委員会教育長事務専決規程（昭和53年教育委員会訓令第1号）第2条第1項の規定に基づき専決し、令和2年第3回石狩市定例会において議決されたことから、同条第2項の規定に基づき報告し、承認を求めらる。

教育長報告
(教育委員会事務局の主な動き)

令和2年9月29日
教育委員会会議提出

8月27日	木	「定例教頭会議(8月)」	401・402会議室
28日	金	「日程調整会議」	庁議室
		「通学路交通安全等合同点検(南線小、花川南中、樽川中)」	現地
31日	月	「佐藤英道衆議厚田学園視察対応」	厚田学園
9月1日	火	「令和2年度永年勤続者表彰伝達式」	りんくる交流活動室
2日	水	「令和2年第3回市議会定例会(初日)」	議会本会議場
3日	木	「和田義明衆議厚田学園視察対応」	厚田学園
8日	火	「令和2年第3回市議会定例会(一般質問1日目)」	議会本会議場
		「定例校長会議(9月)」	401・402会議室
9日	水	「令和2年第3回市議会定例会(一般質問2日目)」	議会本会議場
10日	木	「令和3年度人事異動教育長面接」11・14・16・18・23・24日も	各学校
15日	火	「建設文教常任委員会」	議会第一委員会室
16日	水	「いしかりウィーク学校給食試食」	花川小学校
17日	木	「教育委員会事務局管理職会議(9月)」	庁議室
		「定例教頭会議(9月)」	401・402会議室
18日	金	「令和2年第3回市議会定例会(最終日)」	議会本会議場
25日	金	「教育委員9月勉強会」	議会第二委員会室
29日	火	「日程調整会議」	庁議室
		「教育委員会会議8月定例会」	議会第二委員会室

質問者@党派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
【一般質問】 阿部裕美子@公明党 ■コロナ禍における文化芸術団体等への支援について	①文化芸術団体等への活動の支援をイ。コロナ禍に於いて、新しい生活様式を取り入れて活動している団体等に支援を ロ。発表の場を奪われてしまった団体等への、発表の機会の創出と支援について	感染症対策による各団体の負担の詳細は把握していないが、その影響で思うように活動できない団体があることは承知している。市民文化祭の中止や自粛などで、発表の機会を失い、練習へのモチベーションが低下するなど、厳しい状況が続いているが、コロナ禍にあっても、心を癒し、暮らしに潤いを与える市民の文化芸術活動が途絶えることのないよう考えている。 発表の機会に関しては、石狩市文化協会と連携・協力し、すでに実施している「学び交流センター」での展示発表に加え、WEBを活用した発表機会の提供など、必要な活動支援に取り組む。
【一般質問】 松本喜久枝@日本共産党 ■新型コロナウイルスに対する今後の市としての対策等について	①学校における3密対策を防ぐための少人数学級実現について空き教室等があり実現可能な学校から実施していくことについて	コロナ禍において、少人数による授業形態は、感染防止の観点から重要であると考えている。学校においては、可能な限り、空き教室等を活用し、クラスを分割し、習熟度別指導を行っている。さらに感染予防対策として特別教室を活用する等、今ある環境で3密とならないよう、実施している。引き続き、指導方法の充実と感染予防の両立が図られるよう尽力する。 市教委としては、少人数学級の実現に向けて、様々な場面で粘り強く要望していることから、今後もこのような取組を積み重ねて改善を図っていくよう努めていく。
【一般質問】 金谷聡@改革市民会議 ■コロナ対策について	①来年4月以降も生振小学校のスクールバス増便を継続することに対する市の考えを伺う	スクールバスの増便は、感染症対応の地方創生臨時交付金を活用した取組であり、「次年度以降の継続」については、国における財政措置の状況と、感染症対策における国のガイドライン等を参酌しながら判断する。
【一般質問】 三崎伸子@日本共産党 ■学校給食費無償化について	①学校給食の担う役割について子育て支援に力を入れている市長の考えを伺う。 ②憲法第26条第2項にある義務教育の無償化を子どもの発達保障の観点で考えられないか。 ③このコロナの影響により、学校給食費を一定期間無償化にしている自治体も数多くあるが、数か月でも無償化できないのか。	学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資するだけでなく、食に関する知識や地域の文化に対する理解と関心を深める上で重要な役割を担っているものと認識している。 また、義務教育の無償化と給食費の関係については、憲法第26条第2項により、無償とされる範囲は「授業料不徴収」と解するのが相当（最高裁S39.2.26判決）であるとされており、そういった前提があり、学校給食費は、学校給食法に基づき、児童生徒の保護者に食材費等の負担を求めている。 経済的な理由により納付が困難な世帯には、生活保護制度や就学援助の適用により、保護者負担が無い仕組みとなっており、給食費を滞納している場合でも、児童生徒には給食を提供しているところ。基本的にすべての児童生徒が給食を食べることができている。給食費無償化は、保護者負担である給食費相当額2.7億円を、公費で賄うことになる。 本市の予算編成では、財政規律を保持しながら、市全体を通して重点的かつ効果的な事業を優先して予算措置しており、受益者負担である学校給食費を無償化あるいは軽減することよりも先に取り組むべき事業がある。 市教委としては、これまでどおり、保護者に給食費の負担を求め、期間を限定した無償化についても考えていない。

質問者@党派 ■質問事項	質 問 の 趣 旨	答 弁 要 旨
<p>【一般質問】 日下部勝義@石政会 ■新型コロナウイルス時代の教育の課題と展望について</p>	<p>①公教育が抱える課題と現状認識、将来の展望は</p>	<p>学校は新しい生活様式に沿って感染症対策を講じ、指導計画の見直しや長期休業期間の短縮、土曜授業の実施など、学びの保障の確保に向け様々な工夫を行っている。</p> <p>また、学校行事は、その活動を通して身に付ける学びがあるため、一律に中止するのではなく、活動内容の重点化や学年単位の発表会にするなど、各校において工夫している。</p> <p>学習場面においても集会やグループでの話し合い活動が制限され、新学習指導要領が求める「主体的・対話的で深い学び」をどう実現するか、公教育が早急に対処すべき課題のひとつである。</p> <p>また、長期休業で公立学校におけるICT環境整備の遅れが浮き彫りになった。本市では、国の交付金等を活用し、整備を進めているが、今後は「黒板とチョーク、ノートと鉛筆」による学習から「電子黒板・タブレット」も活用する、多様な学びへと授業スタイルも変えなければならない。こうしたことも含め、今後どのような事態となっても子どもたちの学びを保障し得る環境の整備、指導の改善が急務と認識している。</p> <p>近い将来、ICT機器の本格的活用により個別最適化された学びの環境を実現し、子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、一人一人に適した指導体制の実現などに向け、学校ともしっかりと対話しながら進めていく。</p>
<p>【一般質問】 日下部勝義@石政会 ■石狩小学校の利活用について</p>	<p>①現在の進捗状況、方向性について 厚田区の学校のように民間力を活用できないか</p>	<p>昨年6月、石狩小学校校舎利活用検討委員会で、計画の具体化にあたり配慮すべき事項や具体的な利活用案を意見書としてまとめていただいた。</p> <p>今年度は、これまで収集した資料のデータベース化や閉校した学校資料の集約など、利活用に向けた準備作業を進めている。今後は、意見書を尊重し、具体的な利活用の手法や内容についても検討を進める。</p> <p>なお、石狩小は公的な活用を図るという点で、活用方法も含め広く民間の提案を募っている厚田区の施設とは異なるが、クラウドファンディングなど民間力の活用手法は広く検討したい。</p>

建設文教常任委員会質疑(R02年9月)

質問者@党派 ■質問事項	質問の趣旨	答弁要旨
<p>【本委員会】 三崎委員@日本共産党 ■令和3年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について</p>	<p>①教科書展示に行った意見募集では、何件の意見があったのか。また、特徴的な意見はどのような内容だったのか。</p>	<p>市内3会場で6/12から各施設14日間展示を実施した。名簿上での確認では45名の来場で、20名から29件の意見があり、13件が教科書内容を評価する意見で、10件が内容を疑問視する内容であった。</p> <p>特徴的な意見としては、SDGs、ジェンダー等近年の社会問題に触れていることを評価する内容のほか、社会情勢からか手洗いなど感染症対応について記述を要望する意見があった。</p>
<p>【本委員会】 上村委員@改革市民会議 ■令和3年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について</p>	<p>①教科書を採択するにあたり、本市との転出入が多い札幌市を考慮して選定する考えはないか。</p>	<p>石狩管内7市町村で構成する協議会において、札幌市の教科書選定を考慮する視点はない、と把握している。文部科学省の学習指導要領に沿って教科書は作成されていることから、札幌市で採択される教科書とそれぞれ特色はあるが、大きな違いはないと考えている</p>
<p>【本委員会】 三崎委員@日本共産党 ■学校の感染症対策について</p>	<p>①蛇口の取替え状況について、伺いたい。</p>	<p>全国的に設置を進めているため品薄状態である。当初入荷した分については、数に限りがあったため緑苑台小、厚田学園、浜益小に設置した。9月中に各学校に設置する予定。</p>
<p>■学力テストについて</p>	<p>①全国学力量習状況調査は中止と聞いていたが、学校によっては実施したと聞いている。どんな取組を実施しているのか。</p>	<p>全国学力・学習状況調査については、全国一斉の実施は中止となったが、児童生徒の学習指導等の改善・充実に資するよう活用例も示した上で、各学校の判断で有効に活用いただくよう伝えている。</p>
<p>■石狩八幡小のスクールバス事故について</p>	<p>①8月常任委員会以降の経過と保護者からの苦情などがあったか、伺いたい。</p>	<p>8月21日に保護者宛へ事故の経緯、対応、8月の常任委員会で示した事故再発防止策、謝罪を含めた文書を送付した。現在まで苦情などはない。</p>